



編集 SEF 事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「春の到来」 **理事 長本 啓壮**

春到来で心身共に明るく軽やかになる季節ですが、今年は豊洲新市場の迷走、米国のトランプ新政権誕生、EUの分裂危機、韓国の混乱、等々、国内外で不透明感が至る所で感じられ、なかなか気分が晴れないのが現実ではないでしょうか？本来ならこの季節は旧暦の二十四節季の中で「啓蟄」と呼ばれ、土中に冬ごもりしている虫が活発に活動を始める時期で、これ程春の訪れを的確に表す言葉は他にあまりないと思われます。ようやく大地が暖まり、地中で冬眠していた虫達のごそごと動き出す光景が実感をもって目に浮かびます。

今年は冒頭に記述したように内外に予測が難しい事象が目白押しとなっていてあまり春の到来を心から明るく感じられないこともあります。人間も春の訪れと共に気分が高揚し、考え方も動きも活発になることは虫達と同じです。不条理なことも多い世の中ですが、気分転換がまず必要です。日本の四季は他に類の無いぐらいそれぞれが変化に富んでおり、住みやすい環境を醸成しています。これを堪能出来る我々日本人は幸せかも知れません。やはり春の訪れと共に気分転換することが精神衛生上必要な事ではないでしょうか。

SEFも来月から新たに16期に入ります。HPの更新、15年史の編纂等新たな事業も計画されています。SEF会員の皆様ますます勇躍発展御活躍されることを祈念してやみません。

2 月度(第 162 回)理事会報告(2 月 22 日)

《第 162 回理事会》	
1. 16 期 15 年史編纂スケジュールと予算の件 →可決承認	5. 準会員(米倉氏)退会の件 →報告了承
2. 正会員(坂下氏)入会の件 →可決承認	6. H28 年度決算見込み →報告了承
3. 月島機械・設備コンサルティング業務の件→可決承認	7. 80 歳以上会員会費免除の件 →報告了承
4. H29 年度運営基本方針案の件 →継続審議	8. H29 年 1 月会計報告 →報告了承
	9. 共通管理費予算超過の件 →報告了承

事業報告 コミュニケーション研究会 **担当理事 長本啓壮**

コミュニケーション研究会(通称 コミ研)の2月末現在の陣容は、小泉会員、佐立会員、玉木会員、平田会員、松井会員、長本の6名で、2月末の時点で、定例会は通算124回、毎回、神田明神門前のそばや「きやり」に集まっております。合宿は15回実施しました。直近の合宿は昨年11月に神奈川県箱根町に於いて一泊二日の日程で実施しております。

第15期～16期の活動は、第8次テーマとして『日本人の心』を中心に、それぞれがそれらに関する思い・考えを自由な発想で纏める、・・・と云うもので、形式は論文、エッセイ等、研究員が各自で選択することになります。

第7次テーマの『後進に伝えたいことごと』に付いては、1小泉研究員の『昔 私が言ったこと』、2松井研究員の『「技術」に関して書いておきたいこと』、3佐立研究員の『孫に話す・戦争の頃の話』の三篇の論文が纏まりました。これらの論文は既にSEF HP に掲載しましたが、別途、小冊子に製本して、関係者に配布しました。

第8次テーマに付いては第16期中に纏め、HP掲載、小冊子製本を計画しております。又、構成員自体も高齢化が進み、心機一転、若返りの必要も感じられるため、新たな研究員の参加も必要です。興味のある方は是非上記コミ研関係者にお申し出下さい。参加をお待ちしております。

SEF サロン 98 回案内 **担当理事 白崎善宏**

《 第 98 回案内 》

日時:2017 年 3 月 22 日(水) 18 時 場所:青学会館内アイビーホール 1F 「フェア」

演題:「私から見たモンゴル」

講師:U. ウルジ氏 モンゴル国商工会議所・日本会頭

ウルジ氏は在日 20 数年でモンゴルの大統領来日時には通訳を務め、モンゴル出身の朝青龍はじめ大相撲の力士たちには“日本のお母さん”とも言われる方です。モンゴルはロシアと中国の狭間にあり、苦難の日々でしたが 1992 年に共産主義国から新生「モンゴル国」が誕生しました。そうした日々をウルジ氏からの視点でモンゴルの現況、生活、文化をお話いただきます。同時にモンゴル人から見た日本についてもお話いただきます。

2 月度会員動向

会員入退会 坂下幸司氏 正会員入会 米倉博幸氏準会員退会(H29/3)	3 月 1 日 会員数 正会員・30 名、準会員・29(3 月末で 28)名、賛助会員・2 社
---	--